



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー株式会社 Universal Business Technologies Corporation

Book Copy Station ユーザ導入事例

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館 National Institute of Japanese Literature

国文学に関する文献その他の資料の調査研究・収集などを行う国立大学の共同利用機関として1972年（昭和47）に創設されました。2004年（平成16）より大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館として大学における学術研究の発展に寄与しています。



複写サービス

著作権法第三十一条にもとづき図書館で行われる調査研究利用のための書籍複製（印刷）サービス。

Bookeye® 4

ドイツ ImageAccess 社のブックスキャナー、最大 A1 サイズから A3 サイズのスキャナーをラインナップし、上向きの V 字クレードルで本に優しいスキャンを実現するとともに、高い操作性で書籍の電子化や複写サービスをサポートします。



こちらから BCS の動画やパンフレットがご覧いただけます。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館（以下、国文学研究資料館）は、国内各地の日本文学とその関連資料を大規模に集積、日本文学をはじめとするさまざまな分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関です。所蔵資料は、古典籍を含む図書・雑誌が約 23 万冊におよび、併設された図書館で一般の利用者に公開されています。館内には複写サービス用のコピー機も設置されていますが、これまでの複写サービスを行っていなかった和装本や劣化資料の複写も踏まえたブックスキャナーの導入を検討されました。



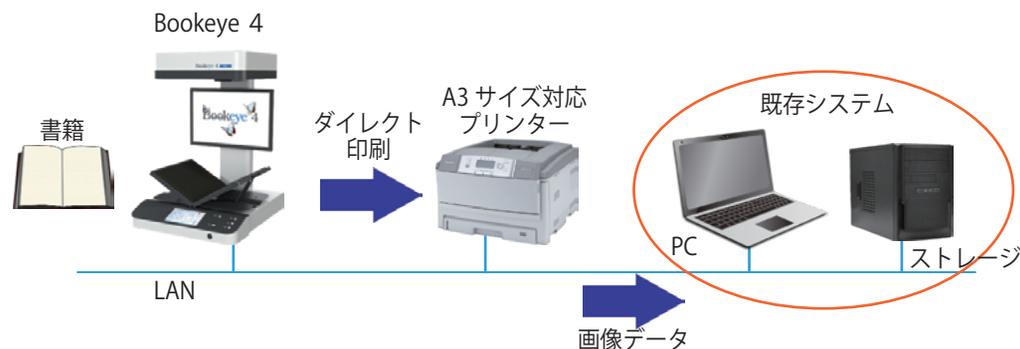
ブックスキャナー選定のポイント

- V 字クレードルを装備し、和装本や劣化資料に与える負荷を最小限で複写できること。
- 合本された雑誌・紀要などの厚い書籍にも対応が可能であること。
- プリンターに直接印刷が可能であること。
- 自動トリミング機能を搭載し PC などでの画像切出し操作が不要であること。
- オープンシステムでスキャンしたデータを LAN 上に構築されたストレージシステムや PC にデータ転送が可能であること。



この要求にマッチしたのがユニバーサル・ビジネス・テクノロジーの提供するブックコピーステーション（以下 BCS）です。BCS は ImageAccess 社の Bookeye 4 をブックスキャナーとして採用しており、V 字クレードルで本に優しい複写とオープンシステムによる環境対応の柔軟性を実現しています。国文学研究資料館では、貴重な資料の電子化プロジェクトも開始されています。BCS は複写サービスにとどまらず電子化要望にも対応するスキャン管理ソフトを搭載していますので、将来にわたってご利用いただけるシステムとなっています。

BCS システムイメージ



○製品の仕様・内容および外観は予告なく変更されることがございますので、予めご了承ください。○会社名・製品名は各社の商標もしくは登録商標です。○このパンフレットの記載内容は、2015年5月現在のものです。

■ 輸入・発売元



ユニバーサル・ビジネス・テクノロジー株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 12F
TEL 03-3287-1170 FAX 03-3287-1171
URL: www.ubtc.jp sales@ubtc.jp

■ お問い合わせ